



まねん

KKR 広島記念病院広報誌

第 22 号

発行所 〒730-0802
広島市中区本川町1-4-3
国家公務員共済組合連合会
広島記念病院
Tel (082)292-1271

<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

新入職員を迎えて



今年は例年になく日本全体が大雪に見舞われ、3月下旬になっても、気温10℃を超えない日が続いていました。平和公園の梅の開花も遅れています。2011年3月11日の東北地方の地震と津波の被害、福島原子力発電所の事故による被害から「絆」の基に、少しずつ苦境を乗り越えて、日本の再生を果たしつつ、1年を迎えています。

記念病院では、長年当院の為に尽力を尽くして下さいました榎井事務部長、鈴木看護部長が退職されました。そして、新たに桐山事務部長、江村看護部長が就任されました。医局も小林昌幸先生、竹田亮先生、田中雄一朗先生、豊田和宏先生が転出され、秦良一郎先生、吉本真奈美先生、小林弘典先生、山本隆一先生、松本健太先生、平野利典先生が着任されました。新人職員としては薬剤師1名、助産師5名、保健師6名、看護師3名、記念寿の介護福祉士3名、計18名が新たに加わりました。

今年の目標は(1)職員の満足度を上げることです。

(2)患者さんの満足度を上げるためには、先ず患者さんの目線で医療行為を行うことです。

(3)診療所の紹介医の満足度を上げるには、診療所目線で医療連携をすることです。

(4)職員の満足度を上げるには、職員の目線で自分達の生き甲斐を見つけ、作り上げていくことです。

東北地方の大震災で生きている事の「尊さ」、「大切さ」、「喜び」、「意味」、「充実感」を感じたと思います。自分の役割分担に誇りを持ち、お互いに尊重し合い、助けあい、慈しみあいながら「人間の生や死にかかわる仕事の尊さ、感動を職員の皆様と共に共感しながら、良質な医療の提供に努力しましょう。



当院屋上より平和公園方面を望む

就任挨拶

広島記念病院 事務部長 桐山和久



この度、4月1日付で靱井 忍前事務部長の後任として、事務部長を拝命いたしました。私は、昭和57年に呉共済病院に入職後、平成2年より国家公務員共済組合連合会本部、平成16年から立川病院、平成22年に広島記念病院に赴任いたしました。当院へはこの4月でやっと3年目を迎えるという短い期間ではありますが、前任の事務部長から地域との関わりの大切さをしっかりと学ばせていただきました。また、当院の理念である「患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。」を常に念頭に置きながら務めて参りました。

今後は、事務部長という立場から中井病院長を補佐しながら、職員の皆様、地域住民の皆様及び医療連携先の先生方のご期待に添うよう尽力する所存です。

「どうせやるなら明るく、楽しく！！」をモットーに、これまで歩んできた経験を活かしながら日々努めて参りますので、前任者同様ご指導・ご鞭撻、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新任挨拶

広島記念病院 看護部長 江村陽子



このたび、4月1日より鈴木柳子前看護部長の後任として、看護部長となりました。

前任の看護部長は着任後、看護部の組織強化を図り、目標管理、人材育成、院内認定制度と看護の質向上に向けて尽力してこられました。その思いを受け継ぎ、病院の目標でもある「質の高いチーム医療」を目指して、看護は、医師・コメディカルと協働しながら、患者さんに安心して満足いただける良質な医療・看護が提供できるように努めてまいりたいと思います。

併せて、職員が生き生きとやりがいをもって、働き続けることができ、お互いを認め合い、共に成長していくことができる職場づくりを目指していきたく考えています。

看護部の目標は、看護の専門性を活かしたチーム医療の強化です。特に今年は、外来から始まる退院支援の推進、褥瘡チームの連携強化と摂食嚥下障害の方に対して、摂食嚥下障害評価をおこない、嚥下訓練を積極的に推進していきます。患者さんやご家族の方々と緊密なコミュニケーションを通して外来―病棟―在宅と継続性のあるケアの提供を目指しています。

今年度の新採用者は14名です。助産師を5名採用し、助産外来、院内助産を更にアピールしていきたいと考えています。

今後、25年度から5カ年の中期計画の構築に向けて、健全経営に参画できる看護師の育成に尽力できるよう努めてまいりたいと思いますので、皆様にはご協力の程宜しくお願いいたします。

H24 年度 新採用者宿泊研修

研修担当者 千代延 篤志



H24年3月24日～3月26日の3日間、宮島包ヶ浦自然公園にて新採用者宿泊研修を行いました。この研修は、毎年4月1日より採用される新採用職員全員を対象に、昭和56年より始められた当院伝統の宿泊研修です。この研修は①人と人のかかわりを通して自己をみつめ、仲間作りの土台とする。②専門職能を高めるために相互の啓発に役立つグループ作りをする。③コミュニケーションマナーを身に付ける。以上のことを目的としています。

今年度は、看護師14名・薬剤師1名・介護福祉士3名・研修担当者5名の総勢23名が研修を行いました。

研修初日、外部講師を招いた「社会人としての心構え」の講義から始まり、自己アピールを書いた手作り名刺による自己紹介、3日間の研修中のそれぞれの担当者などを、グループ毎に決めてもらいま

した。2日目は宮島弥山への登山を行いました。例年雨で中止になることが多い登山ですが、今年は幸い良い天気で登山を行うことが出来ました。しかし山頂付近で雪が降ったりと、なかなか大変な登山でしたが全員完登することが出来ました。夜は全員で火を囲み、バーベキューを行いました。

3日目はKKR広島で、閉校式・交換会・懇親会を行いました。配属先の発表や先輩からの職場紹介などあり、4月からの仕事に対する気持ちが、より高ぶったのではないかと思います。



研修初日、緊張や不安などでぎこちなかった研修者を見て、H21年私も緊張・期待・不安のなか、宮島研修に参加したのを思い出しました。看護師の同期が多かった中、事務員としての参加で随分戸惑いましたが、終わってみれば皆良い仲間となっていました。今でも同期のメンバーとは飲みに行っ



たり、院内で出会っても気兼ねなく話せたりと良い仲間が出来き、素晴らしい研修だったと思っています。新採用者の方も、4月から仕事が始まる時に同期の仲間がいるというのは心強いと思います。辛い事や困ったことがあれば是非仲間を頼ってみてください。そして4月から記念病院の新しい力として、一緒に頑張っていきましょう。

KKR ころネット広島利用紹介

落久保外科循環器科クリニック

落久保 裕之院長



先生写真

文章



落久保外科 2P

文章

文章

文章

文章

文章

文章

文章

文章

2月地域医療従事者研修会（クリニカルパス研修会）

日 時：H24年2月23日（木）18：30～19：45

テーマ：第1部「外科地域連携パスにおけるわたしのカルテについて」

第2部「広島県における乳がん連携パス」

講 師：第1部 広島記念病院 村上郁美 看護師

第2部 香川乳腺クリニック 香川 直樹 先生

参加者：51名（院外14名、院内37名）



今年度のクリニカルパス研修会は、広島県における五大がん連携パスの先駆けとして行われている「乳がん連携パス」のワーキンググループ委員として御活躍してこられた香川乳腺クリニックの香川先生にお越しいただきました。2006年に成立したがん対策基本法や2007年に閣議決定したがん対策推進基本計画を受け、広島県でも乳がんによる死亡率の低下・患者満足度の向上を最終目標として「広島乳がん医療ネットワーク」が構築され、その一環として連携パスの作成、運用がなされていったとのことでした。そのお話の中で、「わたしの手帳」の導入というものがありました。ちょうど第一部では、当院で使用している「わたしのカルテ」の説明があり、カルテと手帳の有用性についての比較ができたり、アンケート結果などで当院のアンケートと同様の傾向が伺え納得したりと、私たちにとっても大変有意義な研修会となりました。



3月がん疾患セミナー（リンパ浮腫研修会）

日 時：H24年3月15日（木）18：30～19：45

テーマ：「リンパ浮腫のケアの実際」

講 師：呉共済病院 宮下清美 緩和ケア認定看護師及びリンパドレナージセラピスト

参加者：54名（院外25名、院内29名）



3月のがん疾患関連セミナーは、呉共済病院のリンパドレナージセラピストとしてご活躍の宮下さんにお越しいただき

ました。呉共済病院ではリンパ浮腫外来を担当されています。リンパドレナージのビフォーアフターのスライド写真は浮腫の状態が一目瞭然に改善されており、リンパドレナージの効果が実感できました。また細かなケアの実際もモデルを使った実技でお話くださり、大変有意義な研修会になりました。



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修	がん疾患	炎症性腸疾患 4月26日	免疫療法 5月17日							甲状腺がん (土谷病院)	CPC検 討会		胃粘膜下 腫瘍
	委員会			医療安全 対策委員会	NST 委員会	緩和委員 会		感染対策 委員会	褥瘡委員 会			CP委員会	
	その他						看護セミ ナー						
地域保健 (地域住民対象)												第4回 健康教室	
運営委員会 第3金/3M		4月20日			7月20日			10月19日			1月18日		
研修委員会 第1水/2M			5月2日		7月4日		9月7日		11月7日		1月9日 (第2)		3月6日
地域医療支援病院 業務報告書		業務報告書							5日 県庁医務課 提出				
アンケート		アンケート							発送 回収 集計				

平成 24 年度 地域研修及び郷地 年間計画表

記念寿ホームページ URL が変わりました

広島記念病院 老人保健施設 記念寿が
独自ドメインを取得しホームページ url
が変更になりました。

新 URL: <http://www.kkrkineju.jp/>



消化管腫瘍における内視鏡診断の進歩

内科 炭田 知宜



わが国における死亡率の第1位は悪性腫瘍（癌や肉腫）です。胃癌の死亡率（人口10万人に対する死亡数）は減少傾向ですが、癌全体で第2位と依然として死亡頻度の高い疾患に違いはありません。

また大腸癌は男性で第4位、女性では第1位、全体で第3位となっており、年々増加傾向です。

近年内視鏡技術や診断学は飛躍的に進歩しています。

早期胃癌や食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（endoscopic submucosal dissection; ESD）に代表されるような内視鏡治療も広く行なわれるようになりました。技術大国である

わが国では、内視鏡技術においても世界をリードしており、消化管腫瘍に対する内視鏡診断や治療分野でも世界でトップクラスとされています。

言うまでもありませんが、病変を早期発見し治療に導く事が大切であり、「早く病気が見つければ、それが例え癌であったとしても内視鏡切除で根治できる」可能性は高くなると言えます。

近年、画像強調イメージング内視鏡（IEE ; image enhanced endoscopy）が開発され実用化されています。その中でもオリンパス社製の NBI (narrow-band imaging)併用拡大内視鏡やフジノン社製の FICE(flexible spectral imaging color enhancement)が代表的です。NBI 内視鏡検査と言っても耳慣れない言葉かも知れませんが、「CM で女優の宮崎あおいが宣伝している胃カメラ」、と聞けば少しは分かるでしょうか？

NBI は観察光をヘモグロビンの吸収波長にあわせて狭帯域化したため、コントラストの高い画像で、腫瘍の表面構造や微小血管構築を観察することが可能で、腫瘍と非腫瘍との境界や組織診断、病変の深達度の診断に有用であるという報告が多くみられます。

当院では 2008 年よりオリンパス社製の NBI 併用拡大内視鏡検査を胃・食道・大腸病変に対しても積極的に行っており、診断や治療、術後再発のチェックなどに役立てています。

図1は早期大腸癌の症例です。大腸腫瘍性病変に関しては、NBI 検査やその他の検査結果を総合的に判断することで、組織を採取することなく診断や治療方針を決定することが可能になってきています。術前に NBI 拡大内視鏡検査を行ない、腺腫か粘膜内癌の可能性を考え内視鏡切除を行いました。（病理結果は粘膜内癌で、内視鏡的に根治しました。）

図2には 5mm 大の早期胃癌症例ですが、NBI 観察で病変を確認し、粘膜内癌と診断して内視鏡切除を行った1例です。

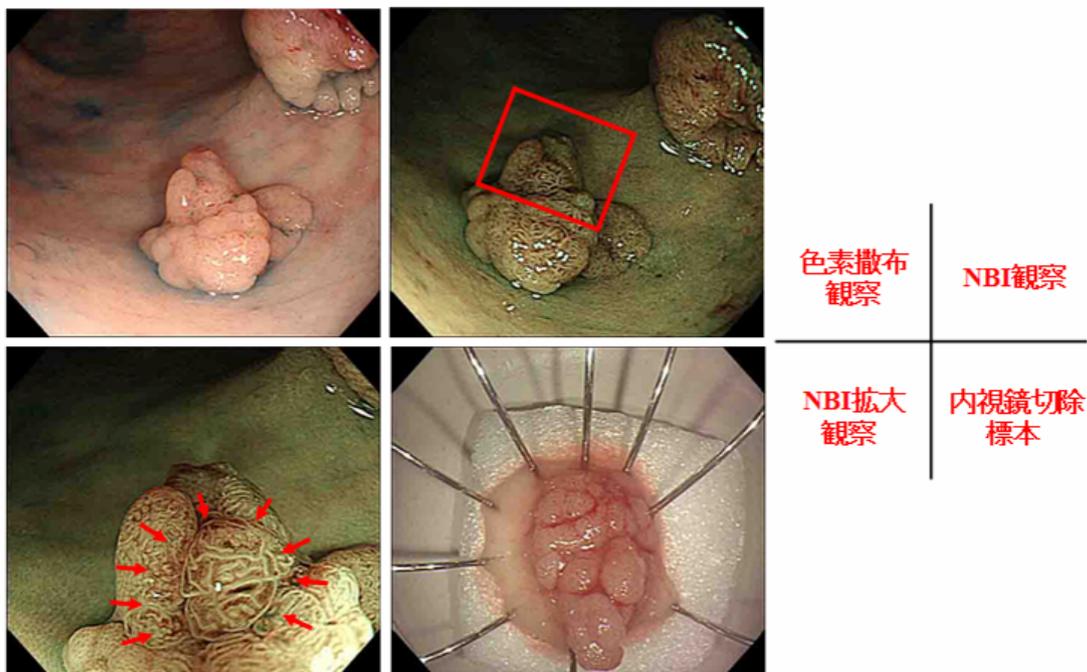
数多くある症例の一部を御紹介しましたが、非常に有用な検査の一つです。

全症例で行なっているわけではありませんが、診断や治療方針の決定に苦慮されている症例がありましたら、是非私どもの外来に御紹介下さい。

また当院に外来通院されている患者様におかれましても「内視鏡はつらい、嫌だ」という印象がある

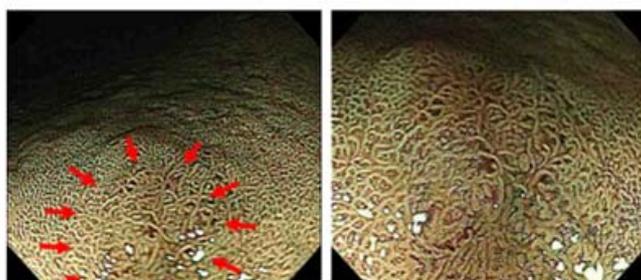
と思いますが、先に述べましたように「早期発見・早期治療が大切」です。当院には6名の内視鏡専門医が在籍しておりますので、安心して内視鏡検査を受けてみて下さい。どうぞ宜しくお願いいたします。

図1



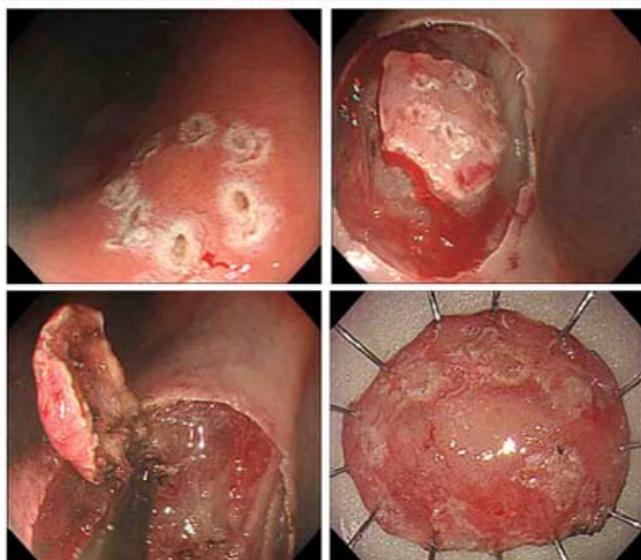
NBI写真です。拡大では粘膜表面が不整であり、癌が疑われます。内視鏡切除にて粘膜内癌と診断しました。

図2



NBI拡大観察

赤矢印で囲まれているところが癌です。



内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)

内視鏡にて腫瘍を完全切除しました。

院内認定看護師

皮膚・排泄ケア院内認定看護師 第1期生誕生



平成22年度より導入した「院内認定看護師制度 皮膚・排泄ケア分野」について、創傷ケアコース（平成22年度履修）、ストーマケアコース（平成23年度履修）教育課程が修了しました。平成23年度のストーマケアコース承認者は7名でした。

この度、この7名のうち、両コースを履修した看護師5名が、皮膚・排泄ケア院内認定看護師第1期生として承認されました。

皮膚・排泄ケア院内認定看護師 第1期生5名の氏名及び所属を紹介します。

井上 明美看護師：8病棟
岡崎 美和看護師：7病棟
坂田 温子看護師：5病等
野邊和歌子看護師：7病棟
渡邊 祐子看護師：記念寿

5名でがんばります♡
よろしくお願い致します♡

平成23年度ストーマケアコース承認者2名の氏名及び所属を紹介します。

上神 裕子看護師：手術室
山本由希子看護師：6病棟

平成24年度、創傷コースを
受講しています♡

平成24年度より、皮膚・排泄ケア院内認定看護師として、皮膚・排泄ケア認定看護師と共に、配属部署や院内の皮膚・排泄ケアの向上を図っていきます。

皆様、応援よろしくお願い致します！

皮膚・排泄ケア認定看護師 森本純子

地域医療連携支援室



地域医療連携支援室は、1階の事務所にあり、宮本先生に室長代行として見守っていただきながら、石光主任・今中・木坂で日々の業務を行っています。

地域医療連携支援室の主な業務は、①連携業務 ②相談業務 ③その他に分けられます。

- ① 連携業務は、主に他の医療機関からの FAX・電話による紹介の受付、当院から他院への紹介・予約依頼、救急コントロール患者の受け入れ調整、その他連携医療機関からの問い合わせへの対応などを行っています。
- ② 相談業務では、退院支援が一番多く、転院の支援・在宅療養に向けた支援・連携機関との連絡調整などを行っています。退院支援では、院内スタッフとの連携を取りつつ、患者・家族の希望と、病状に即した療養がおくれるよう支援を行っています。
- ③ その他には、連携医療機関宛にお便りを発送したり、地域医療従事者研修会の企画運営、地域医療支援病院運営委員会の事務局などを行っています。
- ④ 平成 24 年度から入退院支援看護師を外来に配置し、外来、病棟、地域への情報の一元化をはかり、切れ目のない患者対応、支援を行うことに取り組んでいます。

今後も皆様のお力をおかりして、院内・院外の連携を円滑に行えるよう努めていきたいと思っております。



広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082(503)0730

FAX 082(503)1010

代表 広島記念病院

TEL 082(292)1271

FAX 082(292)8175

庶務課

TEL 082(503)1001

内科・外科

FAX 082(503)0722

産婦人科・小児科

FAX 082(503)0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082(503)0731

4病棟

FAX 082(503)1014

5病棟

FAX 082(503)1015

6病棟

FAX 082(503)1016

7病棟

FAX 082(503)1017

8病棟

FAX 082(503)1018

外来診療担当表

平成24年4月1日現

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	日高	隅 井	隅 井	津 賀	当 番 医
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	児 玉	炭 田	児 玉	山 本	
総合診療科	8:30~11:00		横 崎		串 畑		休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	藤 本	中 井	藤 本	宮 本	中 井	当 番 医
		二 診	宮 本	横 山	坂 下	横 山	坂 下	
		手術	手術	手術	手術	手術		
	13:00~14:30		藤 本	中 井		中 井		
			手術	手術	手術	手術		
産婦人科	8:30~11:00	一 診	中 野	中 野	中 野	吉 本	中 野	休 診
		二 診	吉 本	羽 原	吉 本	羽 原	吉 本	
		一 診	羽 原	手術	中 野	手術	吉 本	
	13:00~14:30		二 診					
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
		13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約)	1ヶ月健診(予約)	予約検査	予防接種
		14:30~16:00	一般診療	藤 井	藤 井		岸	石川、又は小林
耳 鼻 咽 喉 科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		立川、又は石橋	
		二 診						
皮 膚 科	8:30~11:00		河 合				森 桶	
泌 尿 器 科	8:30~11:00			井 上			宮 本	
眼 科	8:30~11:00	初・再診	戸 田	藤 東		藤 東		
歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	294-7858 広島記念診療所
				香 川			堀	
			山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。

歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

■部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場72台、平面駐車場10台
 身障者専用駐車場3台

詳細は病院ホームページをご覧ください